

部会記録

1 会議名

令和2年度第1回頸城区地域協議会 自主的審議事項検討部会

【教育・福祉部会】

2 議題（公開・非公開の別）

(1)協議（公開）

3 開催日時

令和2年12月21日（月）午後6時40分から午後7時35分まで

4 開催場所

頸城コミュニティプラザ 2階 203会議室

5 傍聴人の数

1人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く。）の氏名（敬称略）

・委員：佐野委員（座長）、佐藤委員、望月委員、横山委員

・事務局：頸城区総合事務所佐藤所長、総務・地域振興グループ市川主査

8 発言の内容（要旨）

【横山委員】

前期の教育・福祉部会でも、福祉関係、買物難民を含め公共交通を利用してもらえるかが大きな課題だった。

【佐野委員】

前期のことにこだわらずいろいろな発言をいただきたい。今日、結論をださなくてもいい。

【望月委員】

10月20日の地域活動団体との意見交換ではいろいろな意見が出された。地域活動支援事業に結び付くものも出てくる。

【佐藤委員】

部会記録

個人的には各団体のヒアリングは足りないと感じている。なるべく未来に投資となるような、子供や若い方に道筋をつけることができたらと思う。残すことも大切だが、若い人達が生き生きと暮らせる地域が大切。

【佐野委員】

少子高齢化で町内では人口が10年前と比べ半分、頸城区内では増えたのが上吉くらいで、人がいないことには何もやれない。老人会の人も減っている。

【横山委員】

老人会には人がいるが、老人会そのものをここ3年くらいにやめてきている。市の老人会の補助金の手続きが分からない、面倒なのでやめ、町内で気が合う者でお茶飲みをしている。

【望月委員】

町内の支え合いマップの更新が必要な時期。人口減少で町内の合併が必要。くびき振興会でもいきいきサロンを希望館で開催しているが、送迎も負担になっていて、将来は地域に出向き開催することが必要。

【横山委員】

民生委員をやっているが、高齢者の中には「外に出るのも嫌になった」という人もいる。車に乗せてやらないと出ることもない。

【佐野委員】

老人会の補助金の申請を簡単にしてほしいと何年前かにお願いして少し減った。年を取ると多い資料を読んで申請書を作ることができない。

【横山委員】

子供会は一生懸命にやっている。

【望月委員】

自分の町内には、子供が2人で兄弟、一家族に町内が子供会の補助している状況だ。団体からの意見はほとんど同じ内容で、お金がないことが課題だ。

【横山委員】

部会記録

若い人は娘が家に入れば別だが、男性に嫁ぎ家に入っても合わないとすぐに出てしまう。土地が安いこともあり、家を出て市街地に家を建ててしまう。

【望月委員】

教育を考え直さないといけないのか。

【横山委員】

子供を大学や短大に出すと戻ってこない。一方で田舎は人情がありいと移住する人もいる。若い人の考え方が違う。家を建てたところに住み続けるのではなく、将来は住まなくていいと考えている。これまで、頸城村の時代は行政の人が良くやってくれたので、頸城の人は甘えがある。

【望月委員】

文化協会のメンバーも若い人が入らず高齢化が進んでいる。

【横山委員】

地域活動支援事業の総額の半分くらいを大池の観光に使えばと提案したことがある。のろしあげ、キャンプ場に関係する団体が一緒になって取り組めばいい。お宝のこす会は一生懸命に取り組んでいて、毎年、大勢の人が来ている。頸城自動車の援助が少ない。ユートピアくびきスポーツクラブの事業は参加者が決まっている。

【横山委員】

花の会は中学校では生徒とアヤメを植えたが、大事な中部農道が少ししかやられていない。参加者も少ない。

(終了 午後7時35分)

9 問合せ先

頸城区総合事務所 総務・地域振興グループ

TEL : 025-530-2311 (内線 212)

E-mail : kubiki-ku@city.joetsu.lg.jp